

9 中高年の余暇活動

第6回「中高年者縦断調査」より

元森絵里子

1. 1. はじめに

「余暇」や「生涯学習」が盛んに語られるようになったのは、1970年代である。高度成長が一段落し、生産一辺倒ではなく、余暇や精神性を重視するムードが生まれた。専業主婦率も最も高く、家電の普及で主婦に余裕が生まれた時期である。戦争で青年期を奪われた世代が中高年に差し掛かったこともあり、1974年開校の朝日カルチャーセンターをはじめとするカルチャーセンター事業も盛んになり、自治体の社会教育も余暇の活用に力を入れた。

それから30年。2007年の団塊の世代の大量退職を控え、中高年の習い事や趣味市場への参加が期待された。しかし、実際には定年延長が趨勢になったこともあり、思ったほど需要は増えず、自治体の生涯学習事業や民間のカルチャーセンターなどでは模索が続いていると言われている。

「中高年者縦断調査」では、毎回「社会活動等」を尋ねる設問がある。本稿では、分析可能な最新版である第6回調査（平成22年11月3日）の結果を用い、その傾向を概観したうえで、「趣味・教養」活動と「スポーツ・健康」活動への参加を促進する要因を検討する。

なお、「中高年者縦断調査」の調査対象者は、平成17年10月末現在で50歳～59歳（昭和20年11月生まれ～昭和30年10月生まれ）であり、第6回調査時には、55歳～64歳になっている。

2. 2. 活動参加の概要

問24は、「あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次のような活動をしましたか。活動した場合には、その活動状況についてお答えください」という設問である。「趣味・教養（囲碁、料理、旅行など）」「スポーツ・健康（ウォーキング・球技など）」「地域行事（町内会の催しなど）」「子育て支援・教育・文化（子供会の役員など）」「高齢者支援（家事支援・移送など）」「その他の社会参加活動」それぞれについて、「活動の有無」を確認した上で、「活動の方法」と「満足度」を訪ねている。

まず、活動状況を見ると、表1のようになっている。「参加あり」が多いのは「趣味・教養」の63.6%、次いで「スポーツ・健康」の49.4%である。「地域行事」は、催しへの参加という継続性や密なコミットを要求しない内容を含むにもかかわらず41.0%、「子育て支援・教育・文化」「高齢者支援」という、一定の問題意識を持って、おそらくは何らかの団体に所属して行うと考えられる活動は、6.1%、9.2%と少数派である。

活動ごとの「参加あり」の場合の相関を見てみたのが、表2である。全体的に正の相関がみられるが、中でも「趣味・教養」と「スポーツ・健康」は、相関係数0.323と高い。また、「地域行事」と「子育て支援・教育・文化」0.21、「地域行事」と「高齢者支援」0.162、「子育て支援・教育・文化」と「高齢者支援」0.261と相対的に高めである。

表1 1年間の活動状況の概況

	参加あり	参加なし	無回答	合計
趣味・教養	16643	8519	1023	26185
	63.6%	32.5%	3.9%	100.0%
スポーツ・健康	12860	12307	1018	26185
	49.1%	47.0%	3.9%	100.0%
地域行事	10725	14426	1034	26185
	41.0%	55.1%	3.9%	100.0%
子育て支援・教育・文化	1589	23522	1074	26185
	6.1%	89.8%	4.1%	100.0%
高齢者支援	2413	22712	1060	26185
	9.2%	86.7%	4.0%	100.0%
その他	4640	20336	1209	26185
	17.7%	77.7%	4.6%	100.0%

表2 活動参加の相関係数

		趣味・教養	スポーツ・健康	地域行事	子育て支援・教育・文化	高齢者支援	その他
趣味・教養	Pearson の相関係数	1	.323**	.153**	.111**	.110**	.149**
	有意確率 (両側)		0.000	.000	.000	.000	.000
	N	25162	25056	25036	25005	25020	24869
スポーツ・健康	Pearson の相関係数	.323**	1	.118**	.113**	.085**	.122**
	有意確率 (両側)	0.000		.000	.000	.000	.000
	N	25056	25167	25050	25019	25028	24874
地域行事	Pearson の相関係数	.153**	.118**	1	.210**	.162**	.308**
	有意確率 (両側)	.000	.000		.000	.000	0.000
	N	25036	25050	25151	25009	25017	24866
子育て支援・教育・文化	Pearson の相関係数	.111**	.113**	.210**	1	.261**	.290**
	有意確率 (両側)	.000	.000	.000		0.000	0.000
	N	25005	25019	25009	25111	25036	24863
高齢者支援	Pearson の相関係数	.110**	.085**	.162**	.261**	1	.232**
	有意確率 (両側)	.000	.000	.000	0.000		.000
	N	25020	25028	25017	25036	25125	24899
その他	Pearson の相関係数	.149**	.122**	.308**	.290**	.232**	1
	有意確率 (両側)	.000	.000	0.000	0.000	.000	
	N	24869	24874	24866	24863	24899	24976

** p<0.01

「趣味・教養」と「スポーツ・健康」が、比較的自分のための活動であるのに対して、「子育て支援・教育・文化」や「高齢者支援」は、他者への貢献を目的とする活動であろう。もちろん、自分の子や孫の子育てや、自身や配偶者や親のために参加している場合も含まれる可能性があるが、参加率の低さを考えれば、ボランティアな活動への参加率を反映している可能性のほうが高い。

本稿が関心を持つのは、前者の「趣味・教養」と「スポーツ・健康」である。「自分のため」の活動は、それ自体で生活を豊かにするし、そこから「他人のため」の活動につながることもあり得る。何より、そのような「気軽」な活動に、方法の選択肢に「ひとり」があるにもかかわらず

ず、「参加していない」と答えている人が「趣味・教養」で3割いることが気にかかる。そこで、本稿では、まず、このような「自分のため」の活動がどのような効果をもたらしているかを確認し、次いで、参加している／いないのはどのような人なのかを概観したい。

3. 3. 「趣味・教養」「スポーツ・健康」活動への参加の効果

「趣味・教養」活動と「スポーツ・健康」活動の参加「あり」「なし」ごとに、精神状況や健康状況、健康のための活動の有無を確認したのが、表3と表4である。具体的には、以下の各質問項目を用いた。

- 過去1か月の精神状況

問9「次のそれぞれの質問について、過去1か月の間はどのようなようであったか、当てはまる番号1つに○をつけてください」

- 飲酒

問11「あなたがふだんお酒を飲む頻度はどれくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください」

補問(月に1~3日以上お酒を飲んでいる場合)「お酒を飲む日の1日の平均的な飲酒量はどれくらいですか。清酒に換算し、あてはまる番号1つに○をつけてください」

- 喫煙

問12「あなたは現在、たばこを吸っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください」

補問(吸っている場合)「1日の平均的な喫煙本数はどれくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください」

- 運動

問13「あなたのふだんの運動状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください」

- 健康

問14「あなたはこの1年間(平成21年11月~平成22年10月)の健診(健康診断や健康診査)や人間ドックの受診状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください」

問15「あなたが日頃健康維持のために心がけていることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください」

趣味・教養活動

「趣味・教養」活動では、過去1か月の精神状況では、「神経過敏」「絶望的」「落ち着かない」「気分が沈み込む」「骨折りと感じる」「価値がないと感じる」すべてで、「参加あり」の人に「まったくない」が割合が高めで、「参加なし」の人に「いつも」「たいてい」ときどきが割合が高いという傾向が見られる。「いつも」などはかなり偏りがある。

飲酒は、「月に1~3回」から「週に1~2回」の飲酒の割合が高めで、「飲まない(飲めない)」「ほとんど飲まない」や「毎日」は低めである。飲酒量は「1合未満」の割合が高めで、それ以上は低めである。「参加あり」のほうが、適度な飲酒習慣を持っている傾向が高いと言えよう。

喫煙は、「参加あり」のほうが、「吸っていない」が高めであったが、吸っている場合、「10本以下」が高めで、「21～30本」「31本以上」は低めである。「参加あり」のほうが、喫煙習慣はよいと言えよう。

運動は、「息がはずまない軽い運動」、「多少息がはずむ運動」とも、「参加あり」のほうが、頻度によらず「運動をしている」割合が高めである。「激しく息がはずむ運動」は、「参加なし」で「ほぼ毎日」の割合が高めだが、それ以外は、「参加あり」の「運動をしている」割合が高めである。「参加あり」のほうが、運動状況はよい。

健康は、「参加あり」のほうが、健康診断を「受診した」の割合が高めで、健康維持のための「心がけあり」も高めである。心がけの内容でも、「年に1回以上人間ドックを受診する」「食事の量に注意する」「バランスを考え多様な食品をとる」「錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する」「適正体重を維持する」「食後の歯磨きをする」「適度な休養をとる」「ストレスをためない」の割合が高めである。「たばこを吸い過ぎない」「適度な運動をする」は、低めだが、全体としては、「参加あり」のほうが、心がけていることも多く、健康への意識が高いと言える。

スポーツ・健康活動

「スポーツ・健康」活動でも、過去1か月の精神状況では、「神経過敏」「絶望的」「落ち着かない」「気分が沈み込む」「骨折りと感じる」「価値がないと感じる」すべてで、「参加あり」の人に「まったくない」割合が高めで、「参加なし」の人に「いつも」「たいてい」ときどき」が割合が高いという傾向が見られる。「いつも」などはかなり偏りがある。

飲酒は、「月に1～3回」から「週に1～2回」の飲酒の割合が高めで、「飲まない（飲めない）」「ほとんど飲まない」は低めである。飲酒量は「1合未満」「1～3合未満」の割合が高めで、それ以上は低めである。「参加あり」のほうが、適度な飲酒習慣を持っている傾向が高いと言えよう。

喫煙については、「参加あり」のほうが、「吸っていない」割合が高めである。吸っている場合の本数では、有意な差は見られなかったが、やはり「参加あり」のほうが、喫煙習慣はよいと言えよう。

運動は、「息がはずまない軽い運動」、「多少息がはずむ運動」「激しく息がはずむ運動」すべてで、「参加あり」のほうが、頻度によらず「運動をしている」割合が高めである。運動の強度が激しくなるほど、偏りが激しくなるのは、「スポーツ・健康」活動という項目の特性上当然であろう。

健康は、「参加あり」のほうが、健康診断を「受診した」の割合が高めであり、健康維持のための「心がけあり」も高めである。「心がけなし」の率の低さも、「スポーツ・健康」活動という項目から当然ではあるが、注目に値する。心がけの内容でも、「お酒を飲み過ぎない」「適度な運動をする」「年に1回以上人間ドックを受診する」「食事の量に注意する」「バランスを考え多様な食品をとる」「錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する」「適正体重を維持する」「食後の歯磨きをする」「適度な休養をとる」「ストレスをためない」の割合が高めである。「たばこを吸い過ぎない」は低めだが、全体としては、「参加あり」のほうが、心がけていることも多く、健康への意識が高いと言える。

表3 趣味・教養活動参加の効果

		趣味・教養活動の有無（第6回）				合計			
		あり		なし					
合計		16643	66.1%	8519	33.9%	25162	100.0%		
過去1か月の精神状況	神経過敏	いつも	314	47.2%	351	52.8%	665	100.0%	***
		たいてい	433	57.4%	321	42.6%	754	100.0%	
		ときどき	2607	63.8%	1479	36.2%	4086	100.0%	
		少しだけ	4548	68.2%	2117	31.8%	6665	100.0%	
		まったくない	8532	67.8%	4058	32.2%	12590	100.0%	
	絶望的	いつも	109	40.4%	161	59.6%	270	100.0%	***
		たいてい	111	40.1%	166	59.9%	277	100.0%	
		ときどき	888	51.7%	828	48.3%	1716	100.0%	
		少しだけ	2447	59.9%	1640	40.1%	4087	100.0%	
		まったくない	12904	70.0%	5529	30.0%	18433	100.0%	
	落ち着かない	いつも	78	37.3%	131	62.7%	209	100.0%	***
		たいてい	147	47.1%	165	52.9%	312	100.0%	
		ときどき	1412	58.1%	1018	41.9%	2430	100.0%	
		少しだけ	3972	66.1%	2039	33.9%	6011	100.0%	
		まったくない	10813	68.6%	4949	31.4%	15762	100.0%	
	気分が沈みこむ	いつも	139	40.6%	203	59.4%	342	100.0%	***
		たいてい	259	46.8%	294	53.2%	553	100.0%	
		ときどき	1627	57.8%	1190	42.2%	2817	100.0%	
		少しだけ	4448	66.0%	2296	34.0%	6744	100.0%	
		まったくない	9973	69.7%	4333	30.3%	14306	100.0%	
骨折りと感じる	いつも	131	37.8%	216	62.2%	347	100.0%	***	
	たいてい	263	48.7%	277	51.3%	540	100.0%		
	ときどき	1651	59.3%	1135	40.7%	2786	100.0%		
	少しだけ	4804	66.5%	2420	33.5%	7224	100.0%		
	まったくない	9589	69.2%	4262	30.8%	13851	100.0%		
価値がないと感じる	いつも	93	36.9%	159	63.1%	252	100.0%	***	
	たいてい	105	44.3%	132	55.7%	237	100.0%		
	ときどき	757	51.9%	701	48.1%	1458	100.0%		
	少しだけ	2352	60.5%	1535	39.5%	3887	100.0%		
	まったくない	13152	69.4%	5801	30.6%	18953	100.0%		
飲酒	飲酒の有無	飲まない（飲めない）	4459	61.9%	2748	38.1%	7207	100.0%	***
		ほとんど飲まない	3637	66.7%	1813	33.3%	5450	100.0%	
		月に1~3日	1200	76.3%	373	23.7%	1573	100.0%	
		週5~6日	1261	74.2%	438	25.8%	1699	100.0%	
		週3~4日	1140	71.3%	459	28.7%	1599	100.0%	
		週1~2日	1206	74.4%	414	25.6%	1620	100.0%	
		毎日	3637	62.3%	2204	37.7%	5841	100.0%	
		飲むが頻度不明	63	64.9%	34	35.1%	97	100.0%	
	飲む場合の1日の飲酒量※	1合未満	3729	73.2%	1365	26.8%	5094	100.0%	***
		1~3合未満	4107	65.8%	2131	34.2%	6238	100.0%	
		3~5合未満	549	61.4%	345	38.6%	894	100.0%	
		5合以上	51	66.2%	26	33.8%	77	100.0%	
	喫煙	喫煙の有無	吸っていない	13709	69.0%	6148	31.0%	19857	100.0%
吸っている			2897	55.3%	2343	44.7%	5240	100.0%	
吸う場合の喫煙本数※		10本以下	662	56.5%	509	43.5%	1171	100.0%	***
		11~20本	1489	55.3%	1203	44.7%	2692	100.0%	
		21~30本	573	54.1%	486	45.9%	1059	100.0%	
		31本以上	162	53.5%	141	46.5%	303	100.0%	

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

※は、合計が全体とは異なる

(つづき)

		趣味・教養活動の有無（第6回）				合計			
		あり		なし					
合計		16643	66.1%	8519	33.9%	25162	100.0%		
運動	息がはずまない 軽い運動	月に1日程度	430	70.6%	179	29.4%	609	100.0%	***
		週に1日程度	1899	77.9%	539	22.1%	2438	100.0%	
		週に2~3日	2221	77.3%	651	22.7%	2872	100.0%	
		週に4~5日	1279	78.4%	352	21.6%	1631	100.0%	
		ほぼ毎日	2504	74.7%	848	25.3%	3352	100.0%	
		運動していない	8200	58.5%	5817	41.5%	14017	100.0%	
	多少息がはずむ 運動	月に1日程度	827	79.7%	210	20.3%	1037	100.0%	***
		週に1日程度	2010	79.4%	520	20.6%	2530	100.0%	
		週に2~3日	2030	78.5%	557	21.5%	2587	100.0%	
		週に4~5日	1134	79.5%	292	20.5%	1426	100.0%	
		ほぼ毎日	1359	72.2%	524	27.8%	1883	100.0%	
		運動していない	9173	59.3%	6283	40.7%	15456	100.0%	
	激しく息がはずむ 運動	月に1日程度	388	86.2%	62	13.8%	450	100.0%	***
		週に1日程度	700	85.6%	118	14.4%	818	100.0%	
		週に2~3日	532	87.2%	78	12.8%	610	100.0%	
		週に4~5日	143	89.4%	17	10.6%	160	100.0%	
		ほぼ毎日	40	59.7%	27	40.3%	67	100.0%	
		運動していない	14730	64.6%	8084	35.4%	22814	100.0%	
健康	健康診断受診状況	受診した	11628	70.3%	4904	29.7%	16532	100.0%	***
		受診していない	4888	58.2%	3504	41.8%	8392	100.0%	
	健康維持のための 心がけの有無	心がけあり	15898	68.3%	7376	31.7%	23274	100.0%	***
		心がけなし	625	37.4%	1045	62.6%	1670	100.0%	
	健康のために心が けていること がある場合の内容※	お酒	4251	68.8%	1927	31.2%	6178	100.0%	***
		たばこ	2046	58.1%	1475	41.9%	3521	100.0%	
		運動	9076	57.1%	6822	42.9%	15898	100.0%	
		人間ドック	4322	78.1%	1211	21.9%	5533	100.0%	
		食事量	9898	71.4%	3972	28.6%	13870	100.0%	
		栄養バランス	8827	75.3%	2893	24.7%	11720	100.0%	
		ビタミン剤等	3886	71.3%	1565	28.7%	5451	100.0%	
		適正体重	8664	73.0%	3202	27.0%	11866	100.0%	
		歯磨き	7763	72.7%	2917	27.3%	10680	100.0%	
		休養	8030	72.9%	2978	27.1%	11008	100.0%	
	ストレス	9079	72.1%	3519	27.9%	12598	100.0%		

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

※は、合計が全体とは異なる

表4 スポーツ・健康活動参加の効果

		スポーツ・健康活動の有無(第6回)				合計			
		あり		なし					
	合計	12860	51.1%	12307	48.9%	25167	100.0%		
過去 1 か 月 の 精 神 状 況	神経過敏	いつも	249	37.7%	411	62.3%	660	100.0%	***
		たいてい	335	44.4%	419	55.6%	754	100.0%	
		ときどき	1969	48.2%	2119	51.8%	4088	100.0%	
		少しだけ	3456	51.9%	3209	48.1%	6665	100.0%	
		まったくない	6678	53.0%	5918	47.0%	12596	100.0%	
	絶望的	いつも	84	31.1%	186	68.9%	270	100.0%	***
		たいてい	87	31.3%	191	68.7%	278	100.0%	
		ときどき	648	37.8%	1068	62.2%	1716	100.0%	
		少しだけ	1879	46.0%	2210	54.0%	4089	100.0%	
		まったくない	10007	54.3%	8428	45.7%	18435	100.0%	
	落ち着かない	いつも	64	30.6%	145	69.4%	209	100.0%	***
		たいてい	127	40.6%	186	59.4%	313	100.0%	
		ときどき	1088	44.9%	1337	55.1%	2425	100.0%	
		少しだけ	2977	49.5%	3040	50.5%	6017	100.0%	
		まったくない	8427	53.5%	7338	46.5%	15765	100.0%	
	気分が沈みこむ	いつも	107	31.3%	235	68.7%	342	100.0%	***
		たいてい	190	34.3%	364	65.7%	554	100.0%	
		ときどき	1223	43.4%	1596	56.6%	2819	100.0%	
		少しだけ	3413	50.6%	3334	49.4%	6747	100.0%	
		まったくない	7768	54.3%	6537	45.7%	14305	100.0%	
骨折りと感じる	いつも	98	28.2%	250	71.8%	348	100.0%	***	
	たいてい	197	36.3%	345	63.7%	542	100.0%		
	ときどき	1194	42.9%	1592	57.1%	2786	100.0%		
	少しだけ	3558	49.2%	3675	50.8%	7233	100.0%		
	まったくない	7640	55.2%	6205	44.8%	13845	100.0%		
価値がないと感じる	いつも	68	27.0%	184	73.0%	252	100.0%	***	
	たいてい	75	31.6%	162	68.4%	237	100.0%		
	ときどき	601	41.1%	862	58.9%	1463	100.0%		
	少しだけ	1795	46.1%	2095	53.9%	3890	100.0%		
	まったくない	10168	53.7%	8782	46.3%	18950	100.0%		
飲酒	飲酒の有無	飲まない(飲めない)	3242	45.0%	3959	55.0%	7201	100.0%	***
		ほとんど飲まない	2692	49.4%	2760	50.6%	5452	100.0%	
		月に1~3日	902	57.3%	672	42.7%	1574	100.0%	
		週1~2日	980	60.6%	638	39.4%	1618	100.0%	
		週3~4日	956	59.7%	646	40.3%	1602	100.0%	
		週5~6日	1023	60.3%	674	39.7%	1697	100.0%	
		毎日	2994	51.2%	2858	48.8%	5852	100.0%	
		飲むが頻度不明	48	50.0%	48	50.0%	96	100.0%	
	飲む場合の1日の飲酒量※	1合未満	2979	58.4%	2121	41.6%	5100	100.0%	***
		1~3合未満	3390	54.3%	2855	45.7%	6245	100.0%	
		3~5合未満	445	49.9%	446	50.1%	891	100.0%	
		5合以上	28	36.4%	49	63.6%	77	100.0%	
	喫煙	喫煙の有無	吸っていない	10714	53.9%	9151	46.1%	19865	100.0%
吸っている			2125	40.6%	3114	59.4%	5239	100.0%	
吸う場合の喫煙本数※		10本以下	497	42.4%	674	57.6%	1171	100.0%	
		11~20本	1086	40.4%	1603	59.6%	2689	100.0%	
		21~30本	425	40.1%	636	59.9%	1061	100.0%	
		31本以上	107	35.3%	196	64.7%	303	100.0%	

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

※は、合計が全体とは異なる

		スポーツ・健康活動の有無 (第6回)		合計				
						あり	なし	
合計		12860	51.1%	12307	48.9%	25167	100.0%	
運動	息がはずまない 軽い運動	月に1日程度	351	57.8%	256	42.2%	607	100.0%
		週に1日程度	1664	68.3%	773	31.7%	2437	100.0%
		週に2~3日	1979	68.9%	892	31.1%	2871	100.0%
		週に4~5日	1109	68.0%	523	32.0%	1632	100.0%
		ほぼ毎日	2258	67.4%	1090	32.6%	3348	100.0%
		運動していない	5458	38.9%	8575	61.1%	14033	100.0%
	多少息がはずむ 運動	月に1日程度	825	79.9%	208	20.1%	1033	100.0%
		週に1日程度	2218	87.5%	316	12.5%	2534	100.0%
		週に2~3日	2312	89.0%	286	11.0%	2598	100.0%
		週に4~5日	1305	90.9%	130	9.1%	1435	100.0%
		ほぼ毎日	1656	87.7%	233	12.3%	1889	100.0%
		運動していない	4503	29.2%	10936	70.8%	15439	100.0%
	激しく息がはず む運動	月に1日程度	402	89.5%	47	10.5%	449	100.0%
		週に1日程度	787	95.0%	41	5.0%	828	100.0%
		週に2~3日	595	96.9%	19	3.1%	614	100.0%
		週に4~5日	154	95.1%	8	4.9%	162	100.0%
		ほぼ毎日	56	81.2%	13	18.8%	69	100.0%
		運動していない	10825	47.5%	11981	52.5%	22806	100.0%
健康	健康診断受診状 況	受診した	9106	55.1%	7413	44.9%	16519	100.0%
		受診していない	3657	43.5%	4753	56.5%	8410	100.0%
	健康維持のため の心がけの有無	心がけあり	12491	53.7%	10791	46.3%	23282	100.0%
		心がけなし	296	17.7%	1373	82.3%	1669	100.0%
	健康のために心 がけていること がある場合の内 容※	お酒	3525	56.9%	2665	43.1%	6190	100.0%
		たばこ	1622	46.0%	1902	54.0%	3524	100.0%
		運動	9447	78.8%	2546	21.2%	11993	100.0%
		人間ドック	3513	63.5%	2021	36.5%	5534	100.0%
		食事量	7838	56.5%	6034	43.5%	13872	100.0%
		栄養バランス	6834	58.4%	4872	41.6%	11706	100.0%
		ビタミン剤等	2834	52.0%	2613	48.0%	5447	100.0%
		適正体重	7241	61.0%	4626	39.0%	11867	100.0%
		歯磨き	6274	58.7%	4407	41.3%	10681	100.0%
		休養	6211	56.4%	4800	43.6%	11011	100.0%
		ストレス	7125	56.6%	5470	43.4%	12595	100.0%

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

※は、合計が全体とは異なる

以上から、「趣味・教養」活動においても「スポーツ・健康」活動においても、参加をしている人のほうが、日常生活において、いい精神状態を保ち、飲酒、喫煙、運動、健康といった点で、留意してする傾向が強いことがわかった。もちろん、状態がいいないし生活に留意しているから活動に参加するのか、活動に参加しているから状態がいいないし生活に留意しているのか、といった因果関係はわからない。しかし、少なくとも、しばしば規範的に指摘されていたように、「自分のため」の活動に取り組んでいる人は、よりよい生活を送っていると言えるだろう。

4. 4. 「趣味・教養」「スポーツ・健康」活動への参加／不参加の促進要因(クロス表)

では、それぞれの活動への参加の規定要因は何であろうか。表 5～8 は、第 1 回～第 6 回の質問項目において、属性と活動参加に関係しそうな項目を選び出し、活動参加の有無との関係を見たものである。質的変数はクロス表による分析(表 5、6、8、9)、量的変数(収入)は平均の差の検定(表 7、10)を行った。表 5、8 を中心に、必要に応じて他の表に言及しながら、参加／不参加の規定要因を考えていく。

なお、検討した項目は以下である。

- 性別
第 1 回問 1 「あなたの性別、生年月日についてお答えください」
- 平成 22 年 10 月末の年齢
第 1 回問 1 「あなたの性別、生年月日についてお答えください」を用いて、昭和 25 年 10 月生まれまでを「60 代前半」に、昭和 25 年 11 月生まれ以降を「50 代後半」に分類
- 学歴
第 2 回問 1 「あなたが最後に卒業した学校はどれですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください」※第 2 回と第 6 回双方に回答がある場合しか分析できない
- 配偶者の有無・配偶者ありの場合の同居の有無・配偶者ありの場合の介護の有無
問 1 「あなたは、現在、配偶者はいますか。配偶者がいる場合、同居の有無と介護の有無についてあてはまる番号 1 つに○をつけてください(「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を出していない場合も含みます)」
- 介護の有無
問 4 「あなたは現在、同居している方や同居していない親族に対して、介護をしていますか」
- 健康状態
問 6 「あなたの健康状態はいかがですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください」
- 1 か月の治療のための費用の有無
問 8 「あなたは、この 1 か月間(平成 22 年 10 月)に、病気やけがの治療のための費用がありましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ(後略)」
- 活動の困難の有無
「あなたは現在、補問 10-1 に挙げたような日常生活活動の際、困難に感じる k 十はあり

ますか。あてはまる番号1つに○をつけてください」

● 収入になる仕事

問16「あなたはふだん何か収入になる仕事をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください」

● 現在の生活を賄うもの

問21「あなたは現在の生活を何によってまかなっていますか。(中略)3つまで○をつけてください。

● 住まいの形態

問25「今のお住まいの形態について、あてはまる番号1つに○をつけ(後略)」

● 仕事をしている場合の仕事のかたち

問17-1「あてはまる仕事のかたち1つに○をつけてください」

● 1か月の収入額(公的年金以外)、1か月の収入額(公的年金)

問26「あなたは、この1か月間(平成22年10月)に収入はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、収入がある場合は、収入の種類とこの1か月の収入額を記入してください」「この1か月の収入額を、公的年金以外と公的年金に分けて記入してください」

※公的年金以外の収入額では「ボーナスなどは含めず、税・社会保険料などが控除される前の額を記入」、公的年金では「10月に受給した額(2か月分)をそのまま記入」との注釈あり

● 1か月の収入額(合計)

問26の「公的年金以外」と「公的年金」のいずれかまたは両方に記入があった場合に、合算

● 仕事の内容

問17-2「あてはまる仕事の内容1つに○をつけてください」

● 仕事への満足度

問17-5「あなたが、その仕事について感じていることについて、あてはまる番号1つに○をつけてください」

● 仕事をしている主な理由

問17-6「あなたが仕事をしている理由のあてはまる番号すべてに○をつけ、そのうち主なもの1つの番号を右下の枠内に記入してください」

● 仕事の希望

問22「あなたは、収入を伴う仕事について、これからどうしたいと思っていますか。年齢区分ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください」

趣味・教養活動

「趣味・教養」活動では、性別では「女性」の割合が高めで、女性のほうがより積極的であるとわかる。年齢は、退職等の状況と関係する可能性が高いが、「60代前半」のほうが、参加の割合が高めである。学歴は、「中学校」の割合が大変低く、「高校」がやや低め、「専門学校」「大学」

「短大・高専」「大学院」の順で、さらに割合が高くなっていく。学歴が高いほど、参加率があきらかに高いことになる。学歴に伴う収入等の差異にも留意せねばならないが、「余暇」を楽しむのに学歴が関係していることは注目に値する。

配偶者は、「配偶者あり」のほうが参加率が高い。配偶者がいないほうが悠々自適といかないのは、収入等が関係しているのか、精神的な余裕などと関係するのか、さらに踏み込んだ分析が必要である。なお、「配偶者あり」の場合は、「同居している」と参加率が高めとなるが、「介護の必要あり」だと参加率がかなり下がる。さらに、配偶者以外に同居している人で、「同居者あり」だとわずかに参加率が下がる。介護の有無では、「介護している」と、参加の割合がわずかに低めになる。配偶者がいて、父母、義父母、子どもなどと同居しておらず、同居か否かにかかわらず介護をしていない場合が、一番参加しやすいことがわかる。

健康状態は、「大変良い」「良い」「どちらかと言えば良い」だと参加の割合が高く、「どちらかと言えば悪い」「悪い」「大変悪い」だと低い。順序通りの参加率となっており、健康状態は参加に大きく関係しているようである。ただし、「大変良い」でも参加していない人が24.6%、「大変悪い」でも参加している人が37.3%いることの注目に値する。また、1か月の治療のための費用で「費用あり」、活動の困難の有無で「困難あり」だと参加率は低めになる。費用負担と日常生活上の支障があると、参加率は下がる。

収入になる仕事は、「仕事をしている」とわずかに参加率は低くなる。ただし、仕事をしていても、65.4%が何らかの趣味・教養活動を行っているということも重要である。

「仕事をしている」場合については、表9にさらにその内容をまとめてあるが、仕事のかたちは、「会社・団体等の役員」「契約社員・嘱託」「正規の職員・従業員」「家族従業者」の順で参加の割合が高めになっており、「パート・アルバイト」「自営業主」「家庭内での内職」「労働者派遣事業所の派遣社員」の順で低めになっていく。仕事の内容は「管理的な仕事」「事務の仕事」「専門的・技術的な仕事」の順で割合が高め、「販売の仕事」「サービスの仕事」「保安の仕事」「農林漁業の仕事」「生産工程・労務作業の仕事」「運輸・通信の仕事」の順で低めになっていく。収入的に安定し、さらに日程的に余裕があるような働き方をしているほうが、参加率が高いようである。

仕事への満足度は、「能力活用の機会」「職場の人間関係」「賃金収入」「就業時間・休日」「仕事の内容・やりがい」のすべてで、「満足」しているほど活動参加率が高くなっている。また、仕事をしている主な理由では、「社会に役立ちたいから」「社会とのつながりを維持したい」「生活水準を上げるため」「親族等への仕送りのため」「自分のお小遣いのため」「今の仕事が好きだから」「健康を維持するため」「視野を広げたいから」「将来の生活資金のため」「家にずっといるのは嫌だから」「時間に余裕があるから」「子や孫の将来の為」「現在の生活費を補うため」の順で活動参加の割合が高くなっている。逆に「現在の生活のため」や「借金返済のため」だと、参加率が低くなる。今の自分の最低限の生活のためという以上の収入を得るための働いている場合は、趣味・教養活動をする率が上がるのである。つまり、仕事と趣味・教養活動の関係は、まさに「余暇」という呼び方がふさわしいように、仕事をしていない場合や、している場合は喫緊の生活のためでなく、安定した暇のある働き方をしているほうが、活動に参加しやすいということが言える。

現在の収入を賄うものにおいても、「私的年金」「資産収入」「退職金」「公的年金」「預貯金の取り崩し」と安定的な不労所得が多いほうが参加の割合が高くなり、「配偶者が働いた所得」「本人が働いた所得」「親族等からの仕送り」「その他の同居人が働いた所得」と当面の収入調達が必要なほど、参加の割合が低くなる。

表5 趣味・教養活動の参加有無と属性のクロス表

		趣味・教養活動の有無（第6回）				合計		
		あり		なし				
合計		16643	66.1%	8519	33.9%	25162	100.0%	
性別（第1回）	男	7446	62.3%	4505	37.7%	11951	100.0%	***
	女	9197	69.6%	4014	30.4%	13211	100.0%	
平成22年10月末の年齢	60代前半	9173	67.1%	4504	32.9%	13677	100.0%	***
	50代後半	7470	65.0%	4015	35.0%	11485	100.0%	
学歴（第2回）※	中学校	1972	47.4%	2190	52.6%	4162	100.0%	***
	高校	8178	65.9%	4233	34.1%	12411	100.0%	
	専門学校	1508	69.6%	659	30.4%	2167	100.0%	
	短大・高専	1555	80.6%	374	19.4%	1929	100.0%	
	大学	2996	77.5%	870	22.5%	3866	100.0%	
	大学院	174	82.1%	38	17.9%	212	100.0%	
	その他	90	60.4%	59	39.6%	149	100.0%	
配偶者の有無	配偶者あり	14593	67.4%	7048	32.6%	21641	100.0%	***
	配偶者なし	2008	58.3%	1434	41.7%	3442	100.0%	
配偶者ありの場合の同居の有無※	同居している	14069	67.7%	6719	32.3%	20788	100.0%	***
	同居していない	394	62.7%	234	37.3%	628	100.0%	
配偶者ありの場合の介護の有無※	介護の必要あり	153	48.3%	164	51.7%	317	100.0%	***
	介護の必要なし	7841	70.7%	3248	29.3%	11089	100.0%	
配偶者以外に同居している人	同居者あり	10139	65.0%	5464	35.0%	15603	100.0%	***
	同居者なし	6504	68.0%	3055	32.0%	9559	100.0%	
介護の有無	介護している	2142	65.8%	1113	34.2%	3255	100.0%	***
	介護していない	14101	66.6%	7072	33.4%	21173	100.0%	
健康状態	大変良い	1019	75.4%	332	24.6%	1351	100.0%	***
	良い	5608	71.3%	2261	28.7%	7869	100.0%	
	どちらかといえば良い	7381	66.5%	3720	33.5%	11101	100.0%	
	どちらかといえば悪い	2035	56.0%	1598	44.0%	3633	100.0%	
	悪い	395	49.5%	403	50.5%	798	100.0%	
1ヶ月間の治療のための費用の有無	費用あり	8717	68.7%	3974	31.3%	12691	100.0%	***
	費用なし	7521	64.3%	4170	35.7%	11691	100.0%	
活動の困難の有無	困難あり	1380	57.3%	1030	42.7%	2410	100.0%	***
	困難なし	14697	67.3%	7145	32.7%	21842	100.0%	
収入になる仕事	仕事をしている	11503	65.4%	6079	34.6%	17582	100.0%	***
	仕事をしていない	5127	67.9%	2423	32.1%	7550	100.0%	
現在の生活を賄うもの	本人が働いた所得	9224	66.0%	4750	34.0%	13974	100.0%	***
	配偶者が働いた所得	6699	70.0%	2873	30.0%	9572	100.0%	***
	その他の同居人が働いた所得	1054	63.9%	595	36.1%	1649	100.0%	*
	資産収入	891	81.1%	208	18.9%	1099	100.0%	***
	預貯金の取り崩し	2824	71.0%	1152	29.0%	3976	100.0%	***
	退職金	900	76.2%	281	23.8%	1181	100.0%	***
	公的年金	5327	70.8%	2202	29.2%	7529	100.0%	***
	私的年金	1555	79.9%	391	20.1%	1946	100.0%	***
親族等からの仕送り	62	52.5%	56	47.5%	118	100.0%	**	

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

※は、合計が全体とは異なる

		趣味・教養活動の有無（第6回）				合計		
		あり		なし				
合計		16643	66.1%	8519	33.9%	25162	100.0%	
60～64歳では仕事はしたくない	該当なし	12958	64.7%	7074	35.3%	20032	100.0%	***
	該当あり	2381	73.9%	843	26.1%	3224	100.0%	
65～69歳では仕事はしたくない	該当なし	12906	63.9%	7299	36.1%	20205	100.0%	***
	該当あり	3737	75.4%	1220	24.6%	4957	100.0%	
70歳以降では仕事はしたくない	該当なし	11522	62.7%	6849	37.3%	18371	100.0%	***
	該当あり	5121	75.4%	1670	24.6%	6791	100.0%	
住まいの形態	持ち家	15204	68.1%	7124	31.9%	22328	100.0%	***
	賃貸住宅	1082	48.9%	1130	51.1%	2212	100.0%	
	社宅等	140	74.1%	49	25.9%	189	100.0%	
	その他	210	50.4%	207	49.6%	417	100.0%	

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

表7 趣味・教養活動の参加有無と仕事（クロス表）

		趣味・教養活動の有無（第6回）				合計		
		あり		なし				
合計		11503	65.4%	6079	34.6%	17582	100.0%	
仕事をしている場合の仕事のカタチ	自営業主	1871	63.1%	1094	36.9%	2965	100.0%	***
	家族従業者	718	66.4%	363	33.6%	1081	100.0%	
	会社・団体等の役員	812	73.5%	293	26.5%	1105	100.0%	
	正規の職員・従業員	3697	65.5%	1946	34.5%	5643	100.0%	
	パート・アルバイト	2667	63.9%	1509	36.1%	4176	100.0%	
	労働者派遣事業所の派遣社員	78	61.4%	49	38.6%	127	100.0%	
	契約社員・嘱託	1278	68.2%	597	31.8%	1875	100.0%	
	家庭内での内職	94	62.7%	56	37.3%	150	100.0%	
仕事の内容	その他	272	62.8%	161	37.2%	433	100.0%	***
	専門的・技術的な仕事	2673	72.7%	1006	27.3%	3679	100.0%	
	管理的な仕事	1280	75.2%	422	24.8%	1702	100.0%	
	事務の仕事	1539	74.6%	524	25.4%	2063	100.0%	
	販売の仕事	1002	64.1%	560	35.9%	1562	100.0%	
	サービスの仕事	1593	62.2%	967	37.8%	2560	100.0%	
	保安の仕事	175	61.4%	110	38.6%	285	100.0%	
	農林漁業の仕事	581	59.3%	399	40.7%	980	100.0%	
	運輸・通信の仕事	380	52.9%	339	47.1%	719	100.0%	
生産工程・労務作業の仕事	1215	56.3%	945	43.8%	2160	100.0%		
その他の仕事	925	57.7%	677	42.3%	1602	100.0%		

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

(つづき)		趣味・教養活動の有無 (第6回)				合計		
		あり		なし				
合計		11503	65.4%	6079	34.6%	17582	100.0%	
仕事への満足度 能力の活用発揮	満足	1848	74.0%	648	26.0%	2496	100.0%	***
	やや満足	2117	75.8%	677	24.2%	2794	100.0%	
	普通	6008	62.5%	3608	37.5%	9616	100.0%	
	やや不満	772	60.6%	502	39.4%	1274	100.0%	
	不満	314	58.5%	223	41.5%	537	100.0%	
仕事の満足度職 場の人間関係	満足	1795	72.8%	671	27.2%	2466	100.0%	***
	やや満足	2142	73.8%	761	26.2%	2903	100.0%	
	普通	5651	63.2%	3286	36.8%	8937	100.0%	
	やや不満	999	60.4%	656	39.6%	1655	100.0%	
	不満	373	58.4%	266	41.6%	639	100.0%	
仕事の満足度賃 金収入	満足	987	73.6%	354	26.4%	1341	100.0%	***
	やや満足	1376	75.3%	452	24.7%	1828	100.0%	
	普通	4498	66.3%	2282	33.7%	6780	100.0%	
	やや不満	2816	63.7%	1606	36.3%	4422	100.0%	
	不満	1451	57.2%	1086	42.8%	2537	100.0%	
仕事の満足度就 業時間休日	満足	1707	74.6%	581	25.4%	2288	100.0%	***
	やや満足	1683	76.7%	510	23.3%	2193	100.0%	
	普通	5452	63.0%	3198	37.0%	8650	100.0%	
	やや不満	1640	63.6%	939	36.4%	2579	100.0%	
	不満	587	54.9%	482	45.1%	1069	100.0%	
仕事の満足度仕 事の内容やりが い	満足	1876	74.2%	652	25.8%	2528	100.0%	***
	やや満足	2522	75.2%	831	24.8%	3353	100.0%	
	普通	5416	61.8%	3349	38.2%	8765	100.0%	
	やや不満	985	61.3%	621	38.7%	1606	100.0%	
	不満	370	53.7%	319	46.3%	689	100.0%	
仕事をしている 主な理由	現在の生活費のため	5512	61.1%	3508	38.9%	9020	100.0%	***
	現在の生活費を補うため	1150	66.1%	590	33.9%	1740	100.0%	
	生活水準を上げるため	176	83.0%	36	17.0%	212	100.0%	
	自分のお小遣いのため	314	79.9%	79	20.1%	393	100.0%	
	借金返済のため	203	46.2%	236	53.8%	439	100.0%	
	親族等への仕送りのため	36	81.8%	8	18.2%	44	100.0%	
	将来の生活資金のため	697	73.5%	251	26.5%	948	100.0%	
	子や孫の将来のため	102	69.4%	45	30.6%	147	100.0%	
	健康を維持するため	301	75.3%	99	24.8%	400	100.0%	
	社会とのつながりを維持したい	371	84.3%	69	15.7%	440	100.0%	
	社会に役立ちたいから	223	85.1%	39	14.9%	262	100.0%	
	視野を広げたいから	24	75.0%	8	25.0%	32	100.0%	
	今の仕事が好きだから	616	77.4%	180	22.6%	796	100.0%	
	家にずっといるのは嫌だから	206	71.3%	83	28.7%	289	100.0%	
	時間に余裕があるから	125	70.2%	53	29.8%	178	100.0%	
その他の理由	189	72.7%	71	27.3%	260	100.0%		

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

表 7 趣味・教養活動の参加有無と収入額の平均の差 (T 検定)

1ヶ月の収入額(公的年金以外)						
		N	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
趣味・教養活動	あり	11490	44.78	132.547	1.237	+
	なし	5669	39.86	105.367	1.399	
1ヶ月の収入額(公的年金)						
		N	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
趣味・教養活動	あり	5696	16.11	13.577	0.180	***
	なし	2588	14.74	12.783	0.251	
1ヶ月の収入額(合計)						
		N	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
趣味・教養活動	あり	12981	46.70	125.131	1.098	+
	なし	6394	41.30	99.871	1.249	

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

表 10 に載せた 1 か月の収入額では、「公的年金以外」「合計」で有意確率が低いものの、「公的年金以外」「公的年金」「合計」で、活動参加ありの人のほうが、収入が高いという結果になっている。不労所得を中心に、安定した収入があるほうが、活動に参加しやすいとは言えるだろう。

仕事の見通しでは、「60～64 歳では仕事はしたくない」「65～69 歳では仕事はしたくない」「70 歳以降では仕事はしたくない」を選んでいるほど、活動の選択率が高くなる。とりわけ、年齢が上がるとそうなると言える。これは、趣味・教養活動があるから、仕事を引退したいということかもしれないし、仕事自体が趣味と呼べるような人は、他に活動に参加することもなく、仕事を続けたいと思っているということかもしれない。

住まいの形態は、「社宅等」「持家」だと参加率が高めになり、「賃貸住宅」になるとかなり低めになる。

スポーツ・健康活動

「スポーツ・健康」活動では、性別では、「趣味・教養」とは異なり、「男性」の割合が高めで、男性のほうがより積極的であるとわかる。年齢は、「60 代前半」のほうが高めである。学歴は、「中学校」の割合が大変低く、「高校」「専門学校」も低め、「短大・高専」「大学」「大学院」の順で割合が高くなっていく。学歴が高いほど、参加率が高いことになる。「趣味・教養」と少し傾向が異なるが、「余暇」を楽しむのに学歴が関係していることは共通である。

配偶者は、やはり「配偶者あり」のほうが参加率が高い。なお、「配偶者あり」の場合は、「同居している」、「介護の必要なし」のほうが参加率が高く、配偶者以外に、「同居者なし」のほうが参加率が高い。介護の有無では、「介護している」と、参加の割合が低めになる。配偶者がいて、

父母、義父母、子どもなどと同居しておらず、同居か否かにかかわらず介護をしていない場合が、一番参加しやすいという点は、「趣味・教養」と同じである。

表 8 スポーツ・健康活動の参加有無と属性のクロス表

		スポーツ・健康活動の有無（第6回）				合計		
		あり		なし				
合計		12860	51.1%	12307	48.9%	25167	100.0%	
性別（第1回）	男	6279	52.5%	5675	47.5%	11954	100.0%	***
	女	6581	49.8%	6632	50.2%	13213	100.0%	
平成22年10月末の年齢	60代前半	7307	53.4%	6377	46.6%	13684	100.0%	***
	50代後半	5553	48.4%	5930	51.6%	11483	100.0%	
学歴（第2回）※	中学校	1498	36.1%	2649	63.9%	4147	100.0%	***
	高校	6309	50.8%	6118	49.2%	12427	100.0%	
	専門学校	1086	50.0%	1085	50.0%	2171	100.0%	
	短大・高専	1103	57.4%	818	42.6%	1921	100.0%	
	大学	2506	64.8%	1364	35.2%	3870	100.0%	
	大学院	151	71.2%	61	28.8%	212	100.0%	
	その他	68	45.9%	80	54.1%	148	100.0%	
配偶者の有無	配偶者あり	11279	52.1%	10370	47.9%	21649	100.0%	***
	配偶者なし	1545	44.9%	1894	55.1%	3439	100.0%	
配偶者ありの場合の同居の有無※	同居している	10870	52.3%	9927	47.7%	20797	100.0%	***
	同居していない	313	49.9%	314	50.1%	627	100.0%	
配偶者ありの場合の介護の有無※	介護の必要あり	128	40.4%	189	59.6%	317	100.0%	***
	介護の必要なし	6006	54.2%	5076	45.8%	11082	100.0%	
配偶者以外に同居している人	同居者あり	7532	48.3%	8076	51.7%	15608	100.0%	***
	同居者なし	5328	55.7%	4231	44.3%	9559	100.0%	
介護の有無	介護している	1613	49.6%	1638	50.4%	3251	100.0%	***
	介護していない	10930	51.6%	10250	48.4%	21180	100.0%	
健康状態	大変良い	920	67.8%	437	32.2%	1357	100.0%	***
	良い	4565	58.0%	3304	42.0%	7869	100.0%	
	どちらかといえば良い	5500	49.5%	5601	50.5%	11101	100.0%	
	どちらかといえば悪い	1445	39.8%	2184	60.2%	3629	100.0%	
	悪い	280	35.0%	520	65.0%	800	100.0%	
1ヶ月間の治療のための費用の有無	費用あり	6738	53.1%	5950	46.9%	12688	100.0%	***
	費用なし	5808	49.6%	5890	50.4%	11698	100.0%	
活動の困難の有無	困難あり	888	36.8%	1525	63.2%	2413	100.0%	***
	困難なし	11544	52.8%	10301	47.2%	21845	100.0%	
収入になる仕事	仕事をしている	8603	48.9%	8980	51.1%	17583	69.9%	***
	仕事をしていない	4245	56.2%	3310	43.8%	7555	100.0%	
現在の生活を賄うもの	本人が働いた所得	7028	50.3%	6946	49.7%	13974	100.0%	***
	配偶者が働いた所得	4879	51.0%	4688	49.0%	9567	100.0%	
	その他の同居人が働いた所得	696	42.3%	949	57.7%	1645	100.0%	***
	資産収入	678	61.6%	422	38.4%	1100	100.0%	***
	預貯金の取り崩し	2246	56.4%	1738	43.6%	3984	100.0%	***
	退職金	757	64.3%	421	35.7%	1178	100.0%	***
	公的年金	4321	57.3%	3225	42.7%	7546	100.0%	***
	私的年金	1273	65.4%	674	34.6%	1947	100.0%	***
親族等からの仕送り	58	48.3%	62	51.7%	120	100.0%		

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

(つづき)

		スポーツ・健康活動の有無（第6回）				合計		
		あり		なし				
合計		12860	51.1%	12307	48.9%	25167	100.0%	
60～64歳では仕事はしたくない	該当なし	9905	49.4%	10129	50.6%	20034	100.0%	***
	該当あり	1871	58.0%	1355	42.0%	3226	100.0%	
65～69歳では仕事はしたくない	該当なし	9967	49.3%	10240	50.7%	20207	100.0%	***
	該当あり	2893	58.3%	2067	41.7%	4960	100.0%	
70歳以降では仕事はしたくない	該当なし	8919	48.5%	9454	51.5%	18373	100.0%	***
	該当あり	3941	58.0%	2853	42.0%	6794	100.0%	
住まいの形態	持ち家	11732	52.5%	10599	47.5%	22331	100.0%	***
	賃貸住宅	850	38.4%	1365	61.6%	2215	100.0%	
	社宅等	103	54.5%	86	45.5%	189	100.0%	
	その他	168	40.3%	249	59.7%	417	100.0%	

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

表9 スポーツ・健康活動の参加有無と仕事（クロス表）

		スポーツ・健康活動の有無（第6回）				合計		
		あり		なし				
合計		8603	48.9%	8980	51.1%	17583	100.0%	
仕事をしている場合の仕事の かたち	自営業主	1359	45.9%	1604	54.1%	2963	100.0%	***
	家族従業者	479	44.5%	598	55.5%	1077	100.0%	
	会社・団体等の役員	714	64.6%	392	35.4%	1106	100.0%	
	正規の職員・従業員	2833	50.2%	2811	49.8%	5644	100.0%	
	パート・アルバイト	1866	44.7%	2309	55.3%	4175	100.0%	
	労働者派遣事業所の派遣社員	52	40.9%	75	59.1%	127	100.0%	
	契約社員・嘱託	995	52.9%	886	47.1%	1881	100.0%	
	家庭内での内職	73	48.7%	77	51.3%	150	100.0%	
	その他	219	50.7%	213	49.3%	432	100.0%	
仕事の内容	専門的・技術的な仕事	2004	54.5%	1673	45.5%	3677	100.0%	***
	管理的な仕事	1090	64.1%	611	35.9%	1701	100.0%	
	事務の仕事	1191	57.7%	872	42.3%	2063	100.0%	
	販売の仕事	769	49.0%	801	51.0%	1570	100.0%	
	サービスの仕事	1137	44.3%	1429	55.7%	2566	100.0%	
	保安の仕事	142	50.0%	142	50.0%	284	100.0%	
	農林漁業の仕事	346	35.3%	633	64.7%	979	100.0%	
	運輸・通信の仕事	310	43.0%	411	57.0%	721	100.0%	
	生産工程・労務作業の仕事	798	37.1%	1351	62.9%	2149	100.0%	
	その他の仕事	708	44.2%	895	55.8%	1603	100.0%	

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

(つづき)		スポーツ・健康活動の有無(第6回)				合計		
		あり		なし				
合計		8603	48.9%	8980	51.1%	17583	69.9%	
仕事への満足度 能力の活用発揮	満足	1426	57.2%	1067	42.8%	2493	100.0%	***
	やや満足	1597	57.1%	1198	42.9%	2795	100.0%	
	普通	4447	46.3%	5165	53.7%	9612	100.0%	
	やや不満	584	45.8%	690	54.2%	1274	100.0%	
	不満	220	40.7%	320	59.3%	540	100.0%	
仕事の満足度職 場の人間関係	満足	1392	56.5%	1071	43.5%	2463	100.0%	***
	やや満足	1622	55.9%	1278	44.1%	2900	100.0%	
	普通	4218	47.2%	4721	52.8%	8939	100.0%	
	やや不満	706	42.7%	949	57.3%	1655	100.0%	
	不満	258	40.2%	384	59.8%	642	100.0%	
仕事の満足度賃 金収入	満足	795	59.5%	542	40.5%	1337	100.0%	***
	やや満足	1041	56.9%	788	43.1%	1829	100.0%	
	普通	3432	50.6%	3351	49.4%	6783	100.0%	
	やや不満	2060	46.6%	2364	53.4%	4424	100.0%	
	不満	1021	40.3%	1513	59.7%	2534	100.0%	
仕事の満足度就 業時間休日	満足	1377	60.3%	905	39.7%	2282	100.0%	***
	やや満足	1252	57.0%	945	43.0%	2197	100.0%	
	普通	4116	47.6%	4531	52.4%	8647	100.0%	
	やや不満	1137	44.1%	1444	55.9%	2581	100.0%	
	不満	397	37.1%	672	62.9%	1069	100.0%	
仕事の満足度仕 事の内容やりが い	満足	1464	58.0%	1060	42.0%	2524	100.0%	***
	やや満足	1905	56.7%	1452	43.3%	3357	100.0%	
	普通	4019	45.9%	4737	54.1%	8756	100.0%	
	やや不満	710	44.2%	898	55.8%	1608	100.0%	
	不満	262	37.9%	429	62.1%	691	100.0%	
仕事をしている 主な理由	現在の生活費のため	4156	46.1%	4861	53.9%	9017	100.0%	***
	現在の生活費を補うため	806	46.2%	938	53.8%	1744	100.0%	
	生活水準を上げるため	122	57.0%	92	43.0%	214	100.0%	
	自分のお小遣いのため	221	56.4%	171	43.6%	392	100.0%	
	借金返済のため	161	36.7%	278	63.3%	439	100.0%	
	親族等への仕送りのため	24	54.5%	20	45.5%	44	100.0%	
	将来の生活資金のため	497	52.5%	450	47.5%	947	100.0%	
	子や孫の将来のため	67	45.6%	80	54.4%	147	100.0%	
	健康を維持するため	253	63.4%	146	36.6%	399	100.0%	
	社会とのつながりを維持したい	290	65.6%	152	34.4%	442	100.0%	
	社会に役立ちたいから	188	71.5%	75	28.5%	263	100.0%	
	視野を広げたいから	23	71.9%	9	28.1%	32	100.0%	
	今の仕事が好きだから	426	53.7%	368	46.3%	794	100.0%	
	家にずっといるのは嫌だから	147	50.9%	142	49.1%	289	100.0%	
	時間に余裕があるから	107	60.1%	71	39.9%	178	100.0%	
その他の理由	131	50.4%	129	49.6%	260	100.0%		

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

表 10 スポーツ・健康活動の参加有無と収入額の平均の差 (T 検定)

1ヶ月の収入額(公的年金以外)						
		N	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
スポーツ・健康活動	あり	8792	46.77	126.625	1.350	
	なし	8372	39.44	122.072	1.334	***
1ヶ月の収入額(公的年金)						
		N	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
スポーツ・健康活動	あり	4512	16.77	13.696	0.204	
	なし	3784	14.40	12.845	0.209	***
1ヶ月の収入額(合計)						
		N	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差	
スポーツ・健康活動	あり	10008	48.65	119.085	1.190	
	なし	9366	41.07	115.981	1.198	***

*** p<0.001 ** p<0.01 * p<0.05 +<0.1

健康状態は、「大変良い」「良い」「どちらかと言えば良い」だと参加の割合が高く、「どちらかと言えば悪い」「悪い」「大変悪い」だと低い。順序通りの参加率となっており、健康状態は参加に大きく関係しているようである。ただし、「大変良い」でも参加していない人が 32.2%、「大変悪い」でも参加している人が 23.4%いる。興味深いのは、1か月の治療のための費用で「費用あり」のほうが、活動参加率が高いという点である。治療が必要な健康状況だからこそ、健康のために「スポーツ・健康」活動をするという傾向が見られると言えよう。ただし、活動の困難の有無で「困難あり」だと参加率はかなり低めになる。

収入になる仕事は、「仕事をしている」と参加率は低くなる。ただし、仕事をしていても、48.9%が何らかの趣味・教養活動を行っている。

「仕事をしている」場合については、表 6 にさらにその内容をまとめてあるが、仕事のかたちは、「会社・団体等の役員」「契約社員・嘱託」「正規の職員・従業員」の順で参加の割合が高めになっており、「家庭内での内職」「自営業主」「パート・アルバイト」「家族従業者」「労働者派遣事業所の派遣社員」の順で低めになっていく。仕事の内容は、「管理的な仕事」「事務の仕事」「専門的・技術的な仕事」「保安の仕事」「販売の仕事」の順で割合が高め、「サービスの仕事」「運輸・通信の仕事」「生産工程・労務作業の仕事」「農林漁業の仕事」の順で低めになっていく。「趣味・教養」と少し傾向が異なるが、収入的に安定し、さらに日期的に余裕があるような働き方をしているほうが、参加率が高いという点は共通であろう。

仕事への満足度は、「能力活用の機会」「職場の人間関係」「賃金収入」「就業時間・休日」「仕事の内容・やりがい」のすべてで、「満足」しているほど活動参加率が高くなっている。また、仕事をしている主な理由では、「視野を広げたいから」「社会に役立ちたいから」「社会とのつながり

を維持したい」「健康を維持するため」「時間に余裕があるから」「生活水準を上げるため」「自分のお小遣いのため」「親族等への仕送りのため」「今の仕事が好きだから」「将来の生活資金のため」「家にずっといるのは嫌だから」の順で活動参加の割合が高くなっている。逆に「現在の生活費を補うため」「現在の生活費のため」「子や孫の将来の為」「借金返済のため」の順で参加率が低くなる。

現在の収入を賄うものにおいても、「資産収入」「私的年金」「退職金」「預貯金の取り崩し」「公的年金」「配偶者が働いた所得」と安定的な不労所得が多いほうが参加の割合が高くなり、「本人が働いた所得」「その他の同居人が働いた所得」「親族等からの仕送り」と収入調達が必要なほど、参加の割合が低くなる。

なお、表7に載せた1か月の収入額では、「公的年金以外」「公的年金」「合計」ですべてで、活動参加ありの人のほうが、収入が高いという結果になっている。不労所得を中心に、安定した収入があるほうが、活動に参加しやすいということは言えるだろう。

仕事の見通しでは、「60～64歳では仕事はしたくない」「65～69歳では仕事はしたくない」「70歳以降では仕事はしたくない」を選んでいるほど、活動の選択率が高くなる。とりわけ、年齢が上がるとそうなると言える。趣味・教養活動と同等、スポーツ・健康活動があるから、仕事を引退したいということかもしれないし、仕事自体が趣味と呼べるような人は他に活動に参加することもなく、仕事を続けたいと思っているということかもしれない。

住まいの形態は、「社宅等」「持家」だと参加率が高めになり、「賃貸住宅」になるとかなり低めになる。

5. 5. 「趣味・教養」「スポーツ・健康」活動への参加／不参加の促進要因(回帰分析)

クロス表で確認した傾向についてさらに詳しく確認するため、活動への参加あり／なしを従属変数としたロジスティック回帰分析を行った(表11、12)。利用した変数は、以下である。

○男性ダミー：女性を基準

○年齢：昭和20生まれを64歳、21年を62歳、22年を62歳、……、30年を54歳とみなした

○学歴：高卒を基準に、中卒ダミー、専門学校卒ダミー、短大卒ダミー、大卒ダミー、大学院卒ダミーを作成

○配偶者ありダミー：配偶者なしを基準

○介護ありダミー：介護なしを基準

○困難ありダミー：日常生活に困難なしを基準

○仕事ありダミー：仕事なしを基準

○収入：1か月の収入額の公的年金と公的年金以外の合計を利用

○住宅：賃貸を基準に持家ありダミー、社宅ダミー、住宅その他ダミーを作成

趣味・教養活動

年齢が高い、学歴が高い(専門学校卒、短大卒、大卒、大学院卒の順に高卒に比べて参加ありが増加する)、配偶者がいる、収入が高い、持家や社宅であるといった点が、参加に正の効果をもたらす。逆に、男性、中卒、介護あり、生活に困難あり、仕事ありだと、参加に負の効果がある